

地上デジタルテレビにはホームネットワークが必要なこと、ご存知ですか？

案外知られていませんが、地上デジタル放送を楽しむにはインターネット接続が必要なのです。

## 1. 地上デジタル放送とは

次世代のテレビ放送である地上デジタル放送が、東京、名古屋、大阪の一部地域で2003年12月1日より開始されました、今までのテレビ放送と何が違うのでしょうか。これからの生活にどう影響するのでしょうか。ここで考えてみましょう。



## 2. 今までの放送と何が違うの

地上デジタル放送に対して、今までの放送は地上アナログ放送です。その対比は、例えばレコードとCDの違いです。デジタル放送では、クリアで高品質な音声と画像を送ることが出来ます。

また、デジタル化したことにより沢山の情報を送ることが可能になり、同じ番組なのに別の画面を送ることが可能になったりします。裏音声の画像版です。

それだけではありません。今までの放送は番組を見るだけでしたが、デジタル放送では番組に参加することが出来ます。クイズ番組に直接参加して賞品を獲得することも、テレビショッピングの申込みその場で可能になります。

NHKは、紅白歌合戦の勝ち負け投票をこの方式で視聴者から集める予定です。

## 3. スケジュール

地上デジタルテレビ放送は平成15年(2003年)12月1日より、関東・中京・近畿の三大広域圏からスタート

しました。

平成18年(2006年)末までには全国の県庁所在地など主要都市で放送が開始される予定です。

最終的に、平成23年(2011年)7月24日には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログテレビ放送の終了を予定しています。つまり、今のままのテレビで放送が見れるのはあと8年間ということになります。これからテレビを買ったり、家を建てたりする場合は地上デジタル放送のことを考えなければなりません。

## 4. 必要な設備

地上デジタル放送を十分楽しむのに最低限必要なものとして、地上デジタル放送用チューナーがありま



す。今のテレビにこれをつなげば、とりあえず今までと同じように見ることは可能です。しかし、地上デジタル放送の横縦比率は、16:9と今までのアナログ放送の4:3に比べてワイド画面ですので、今のテレビで見ると左右がきれてしまいます。

地上デジタル放送チューナーを内蔵したワイド画面テレビも登場していますので、見るだけならこれで十分です。でもクイズ番組に参加して賞品が欲しいならホームネットワーク(LAN接続)が必要なのです。

## 5. なぜ必要なホームネットワーク

地上デジタル放送も電波による一方通行です。東京であれば、東京タワーから電波が発信されています。ではなぜクイズに解答できるので



しょう？それは、クイズの解答は電話やインターネットで返信するからです。つまり下りは電波で、上りは有線で送るということ

です。

電話では家族の誰かが通話していると解答を送れなかったり、1台のテレビでしか使えません。やはりインターネット経由での返信が本命なのです。

現在販売されている地上デジタル対応テレビにはインターネットに繋ぐLAN端子が付いています。

これからは、テレビの接続口と同じ場所にインターネットの接続口が必要なのです。

## 6. 今検討することが必要です。

一家に何台のテレビがありますか？何台のPCがありますか？今のビデオデッキが壊れたらDVD録画機に買い換えませんか？

これから登場する家電は全てインターネットに接続する機能を持ててきます。買ってきてすぐ全ての機能を使いたいですね。

ホームネットワークで情報コンセントを各部屋に付けておけば簡単に出来ることです。

インフォソケットは、インターネットとホームネットワークのスペシャリストです。